

◆竹園集会所【平成29年4月22日(土) 参加者数19人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
1	呉川公園で倉庫への落書きや、トイレへのイタズラ、不審人物の目撃があるため、防犯カメラを設置してほしい。	分かりました。落書きはできるだけ行政側で消しますので、ご連絡ください。
2	市立幼稚園・保育所のあり方について、市が利用者に対してアンケートを実施したとき、保育所、幼稚園を選んだ理由は何だったか。全国的にも62.5%の人が家から近いからとしていて、今回の配置には疑問を感じる。	幼稚園を選んだ理由についてアンケートをとりました。その中で芦屋の幼稚園の良いところは、ご指摘のように家から近いという意見もありました。全般的に言えることは、幼稚園が信用されているということだと考えています。
3	市立幼稚園・保育所のあり方について、説明会を何回も開いたと思うが、この計画でよいという割合はどれぐらいあったのか。計画の見直しを要求する。	市の計画で現状を変えるということに非常に抵抗感をお持ちの方がたくさんいますので、今の段階ではそれをご意見として頂戴しています。その内容を市が今後どうしていくかというのはこれからです。 今回の計画については、幼稚園の充足率も下がっておりますし、待機児童は今現在もいらっやいますので、改善策を講じる責任が行政側にはあります。今回のあり方については多面的な評価を行い、今後考えさせていただきます。
4	市立幼稚園・保育所のあり方について、計画は早急過ぎると思っている。 特に、西蔵の市営跡地は市側が浸水指定地域と定めてる場所で、その場所に大切な子供たちを通わせるのは心配である。	今回の計画は20年、30年先にも耐え得るような改革案で、保護者が多様な施設の中から選べるということが、これからのニーズに合ったプランだと考えています。 また、浸水地域ということについては、子どもの安全、命が一番大事ですので、十分配慮します。簡単に廃園にするということではなく、地域の方や学識の方にお入りいただいた学校審議会で適正規模について審議があり、圏域等を考慮した上で、見直しの検討基準にする旨で答申をいただいています。
5	市立幼稚園・保育所のあり方について、認定こども園にすると収容人数が大きくなり、インフルエンザとかノロウイルスの感染症が発生した時、幼稚園とは異なり学級閉鎖がなく、重症化するのではないか。	かつては、2,000平方メートルの土地で300人規模の幼稚園もありました。感染症がひどくなったという例はありません。西蔵は5,000平方メートルあります。そのうち全部が使えるというわけではなくとも、ご理解いただきたいと思います。 →保育所については、現状でも制度としての学級閉鎖はないため、インフルエンザ等が発生した場合は、休んでいただくなど必要な対応は行っています。

◆竹園集会所【平成29年4月22日(土) 参加者数19人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
6	市立幼稚園・保育所のあり方について、保護者の方も説明会に来て市の回答が「これから始めます。これから考えていきます。」という説明では心配されている。	幼稚園や認定こども園をどこに配置するのかは、議会等にも説明し、予算の承認がないと具体化はできません。 具体化されていない計画を先に地元にご説明するのは本来の手順ではないため、今後はこの計画の進捗に合わせてご説明し、理解を得るための意見交換をします。 →今回の「あり方」は、今後の幼稚園・保育所の枠組みをお示ししたものです。詳細については今後検討を行い、計画の進捗に合わせてご説明してまいります。
7	ガス管工事と下水道工事を同じタイミングでできないのか。別々で行っていたため、長期間迂回しなければならなかったし、工事の音で迷惑した。また、現在も道が整備されていないため危ない。	無電柱化が、道路やガス管、水道、下水道などできるだけ工事を合わせるような形で計画中です。舗装については、仮舗装ですので最終的には舗装されます。
8	打出側の臨港線から南芦屋浜へ行く3カ所の信号が連動していないため、人が通っていないのに赤信号で止められる。	警察と協議し、直します。 →警察に相談した結果、「交通量を調査の上、検討します」との回答をいただいています。
9	教育施設の整備に関して、例えば精道中学校の建替え工事については、10年ぐらい前から耐震の一般的なガイドラインから超えている。ずっと前からわかっているのに、それを放置し、今も計画から遅れているままではないのか。	十数年前に耐震の話が出たとき、本市の財政状況等を考慮し、国の補助を活用して、山手中学校、精道中学校で耐震工事を行いました。 山手中学校は7月に、精道中学校は平成31年から工事に入りますが、計画のとおりです。
10	市庁舎などにどれだけお金を使っているのか。計画的に行っているのか。保育所19人のために新しい分庁舎を建てるとのことか。	新分庁舎には、人権推進課、男女共同参画センター、ハートフル福祉公社が入ります。計画的に事業を進めていますが、より有利な条件があれば状況に応じて対応します。
11	竹園集会所の前に、イチョウの木があるため歩くところが50センチ程度しかない。市へ撤去をお願いしたが、なぜ撤去できないのか。	「交通の邪魔になるので撤去してほしい」という方と、「慣れ親しんでいるのでそのままにしておいてほしい」という方の2通りの意見があります。地域の方がまとめた意見に従いますということを上げているので、絶対に切らないとは考えていません。